

平水道落成 賞與金問題

一町民の聲

過般平町水道の落成式がすこぶ盛大に行れたが其際の役場員に對する賞與金及町議連に對する紀念品に付種々批難の聲を聞くは遺憾な事である殊に當日の宴席に火防組長衛生區長等を除外して水道と無關係なる可き等の平町青年團正副團長を招待したるは大體問題に連中が奔走したる謝意を含めたるものとして此れ又物議の種と成つてゐるか、賞與金及び紀念品問題に付き一町民としての投書が某町議の手を経て本社に入手したから原文のままを記して見やう。

石井英二郎
高岡武司

右兩名退社仕り候
磐城調査新報社

拜啓 小生は平町水道の無事竣工せしむるに幸ぶものなり、然れども一面には町民として驚くべき風説を耳にせり、即ち賞與金と紀念品なり。

一、主任技手 五百圓(アト
六百圓ト書キ直シ給與セ
テ豫算七百五十圓)

一、現場技手 百圓(豫算ニ
ハ二百五十圓トアル)

一、主任書記 百圓(同)

一、小野書記 八十圓

一、雇 四十五圓

一、水道課長 二百圓

一、町長 二百圓

一、助役 八十圓

一、収入役 八十圓

一、同下働 八十圓

(助役、収入役、同下働ハ工事ニ殆ト關係ナシ)

以上の通り手配せられたるも内小野書記は何等今回の工事には余り關係なく月に一回又は二回位工場の關係とか人夫賃支拂ひとかそれらも旅費を貰ひ居れり所には大體問題の慰勞を含めりとの由、技手連は初めより修了迄日曜

日休まず日夜工事の監督に従事せしもの主任書記又然り他の連とは大に働きを別にせり、この三人は材料倉庫錠を持つて居る丈で工事に全々關係無し、水道課長は課長として職責はあるが之れ又余り關係なし之れも小野書記と同斷大體問題の慰勞を含めりとの話なり、其他も同斷

この前の落成式にも相當なる慰勞金又は紀念品を貰ひたり今回併せて二重取りとなる都合の宜しきこと、存居候紀念品に至りても直接工事に

從事せし者を先にすることが當然なるに左にあらす水道委員は三十圓余の唐金火鉢と置時計の二品尤も委員は豫算三十圓とあるから止らを得ざるも然らば前記の技手技手連にも豫算の賞與を與へるが至當ならんことに出でずして自分等だけ都合の宜しきことをなす不都合なり他の町議では火鉢の事は知らざるものと思ふ貴下は御存じなるや

無事に竣工せる工事の責任は第一現場監督の爲めならずや大に許す限り賞與金又は紀念品を與へることは決して不當ならず(豫算迄)若しこの工事が中途不成に終りたりとせしかば賞與金又は紀念品又は今回の落成式をなすこと出来ざるのみならず又自分の首にありて自決せざる可からず結局正直に働かせしものは馬鹿を見たとなる。(原文片假名)

〇〇町議殿 一町民

祝創一週年(三)

久釜屋商店
電話 九三九番

中野甲藏
日本火災保險株式會社
代理店

外科専門
上田外科醫院
平町南町
電話 二二九番

平町一丁目
和久井屋漆店
電話 四〇五番

品質本位、安價第一
仙臺屋靴店
平町搦地小路

センチリー號代理店
大高自轉車店
平土橋

理髮器具、化粧品一式
芳香園油店
平警察署前

縣會議員
山崎吉平

平二丁目
越の家
電話 三三〇番

平町三丁目(電話四一八番)
佐川洋服店
本店 平町南町三〇
支店 植田町東町通
電話 二六九番
電呼 六二番

平町四丁目
關内藥舖
電話 四十番

石城銀行組合

銘酒「近盛」
近江屋號
馬目支店
平町田町二五
電話 二五四番

縣會議員
鈴木辰三郎

平驛前
阿部石炭商店
電話 二二七番

平町研町
吉村安次郎
電話 二五七番

植田町
佐川龜太郎

縣會員議
古川傳一

縣立回春園
川井重之
豊間村

小名濱町
中村醫院

平町二丁目
關内彦太郎
電話 一三一番

東部電力株式會社
平營業所
平町五丁目
電話 一七五番
一六三番

植田町
赤塚久治

平町一丁目
菌部國安

植田町・平町
磐城無盡商會

平町田町七十三
やぶそば
電話 一四一番

植田裁縫女學校
創立者 柳田四郎
濱島原

平町四丁目
トモル柴田書店
電話 二三四番

平町二丁目
西村屋藥局
電話 四三番

植田町
鷺休三

植田町
金成金三

小名濱町
水野女學校

平町三丁目
三井吳服店
電話 三八番

平町四丁目
小野屋藥店
電話 一四四番

平新川町
松崎長三郎
電話 一七二番